

# 当院でのX線撮影装置について

## (低被曝線量で高画質)



直径8×高さ8cmで160 $\mu$ mの高精細な画像を提供します。ORTHOPHOS XG 3Dは、たった1回のスキャンで全顎の撮影が可能なので、日常診療のルーティンワークの効率化を促します。適度な大きさの撮影範囲(直径8×高さ8cm)により、一画面で広い診断領域を観察することができ、日常診断の様々な診査・診断に使用することができます。また、ステッチングや複数のスキャンを行う必要もありません。迅速な診断と低被曝を同時に実現するのがシロナのORTHOPHOS XG 3Dです。直径5×高さ5.5cmの100 $\mu$ m解像度での撮影モードが追加されました。3D撮影モジュールでもその低被曝線量は確保されています。ORTHOPHOS XG 3Dのパノラマやセファロプログラム2Dモジュールで撮影した画像は、ほとんどの診断場面でも十分な情報を提供できる高精細な画像です。



## 選択可能な撮影範囲 診断への近道

症状にもよりますが、直径5cm×高さ5.5cmの小さい撮影プログラムや上顎および下顎を含む直径8cm×8cmの撮影プログラムで、日常診療の中で必要とされる画像の撮影は対応することができます。直径5cm×5cm以下のサイズでは、患者のポジショニングが難しくなり、直径8cm×8cm以上だと撮影に時間が掛かるだけでなく診療に必要とされる以上の情報が撮影されます。

撮影する直径8cm×8cmの撮影プログラムで提供される画像は、ほとんどの診療に十分なサイズであり、歯内治療医師の為には100μmの高精細で小さいサイズの画像をも提供することが可能です。

# 当院でのX線機器への思い

子供の未来の為に  
のポスター